

風しん

千葉県では、2015年50週に1例、51週に3例の届出があり、2015年1～51週の累計は16例となった。複数の届出が続いたことから2015年1～51週の発生状況についてまとめた。

保健所別では、市川5例、千葉市4例、印旛3例、山武2例、松戸1例、船橋市1例であった。

性別は、男性10例(62.5%)、女性6例(37.5%)であった。

年齢群別では、5歳未満8例(50.0%)、5～9歳2例(12.5%)、10～14歳1例(6.3%)、20代1例(6.3%)、30代3例(18.8%)、80代1例(6.3%)であった。

病型別では、臨床診断例12例(75.0%)、検査診断例4例(25.0%)であった。

症状等として報告されたのは、発疹16例(100.0%)、発熱16例(100.0%)、リンパ節腫脹14例(87.5%)、関節痛・関節炎1例(6.3%)、その他(肺炎)1例(6.3%)であった(複数報告あり)。

診断方法は、臨床決定12例(75.0%)、血清IgM抗体の検出3例(18.8%)、分離・同定による病原体の検出1例(6.3%)、ペア血清での抗体の検出1例(6.3%)であった(複数報告あり)。

風しん含有ワクチン接種歴は、1回あり1例(6.3%)、無し6例(37.5%)、不明9例(56.3%)であった。

